

# 中之島東部 事業評価書（事務局案）

令和8年1月29日（木）  
 令和7年度 第1回  
 大阪府河川水辺の賑わいづくり審議会

資料 3-2

## 事業概要

評価年度	令和3年度 ～ 令和7年度
区域名・事業名	中之島東部・中之島公園（中之島東部）サービス施設・レストラン事業
占用主体	大阪市
事業者	サービス施設：(株)バルニバービ (GARBweeks) レストラン：(株)ゼットン (R RG&BG)
事業内容	サービス施設：梅檀木橋～難波橋にわたる「水辺の文化・芸術交流ゾーン」内中之島の文化力向上に寄与し公園利用を活性化させる施設。 レストラン：難波橋～天神橋にわたる「花の賑いゾーン」内水面への眺望と花の両方を楽しみながら飲食できる施設。 ・中之島公園で開催される各種イベントと連携しながら、開放的な立地や川沿いの魅力を感じられるようテイクアウトメニューの展開や、季節の変化や地域のニーズを踏まえた運営を展開中。

## 事業評価

賑わい創出	<p>地域活性化                  （地域活性化に資する川を生かしたまちづくりのための利用となっているか）</p> <p>（サービス施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中之島公園で開催される各種イベントと積極的に連動し、水辺にある公園の賑わいづくりと来園者の満足度向上に貢献した。</li> <li>・川沿いの「公園内に立地する施設」としての特性を活かし、老若男女問わず、来園者が快適に過ごせる空間づくりに努め、単なる飲食店ではなく、季節の変化や地域のニーズを意識した運営を行った。</li> <li>・キッズメニューや離乳食対応、テイクアウトメニュー展開での公園利用の促進、公園内の開放的な立地や川沿いの魅力を感じられる川沿いの客席レイアウトや、1年通じてテラス席が利用できるよう冷暖房対策など、公園の利用状況や季節の変化、地域ニーズを踏まえながら、今後も引き続き、「公園を訪れるきっかけとなり、また来たいと思われる場所」を目指して運営を継続予定。</li> </ul> <p>【参考】主なイベント連携実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北浜蚤の市…協賛金の提供出店参加 PR 活動</li> <li>・CITY TRIAL JAPAN…VIP ルームへの飲食提供トイレ貸出</li> <li>・日常の憩いの空間創出実証実験…滞留施設・遊具の片付けを毎日17時に実施（施設業務と連携）、限定テイクアウトメニューの展開</li> <li>・中之島まつり…協賛金の提供、トイレ貸出での運営支援</li> <li>・中之島ストリートこども陸上…イベントに合わせた限定テイクアウトメニューの販売</li> <li>・OSAKA COLLECTION（中之島公会堂イベント）…来場者限定の割引クーポンを配布し、公会堂エリアとの回遊性向上を図る</li> </ul>
-------	---

	<p>(レストラン)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・片手で食べられるローズソフトや芝生エリアでも楽しめるランチ BOX などのテイクアウトメニューを販売することで、バラ園や中之島公園内のどこでも食事が可能となり、公園・川の魅力を感じられるロケーションを活かし、幅広い集客を図っている。</li> <li>・公園・水辺の立地を活かした利用を促すことにより、中之島公園全体の集客・地域活性化に寄与している。</li> </ul>								
<p>水辺の賑わい、集客性 (水辺の賑わいにつながる提案内容となっているか、集客性はあるか)</p>	<p>(サービス施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の来店者数はコロナ禍の影響があった令和3年の約10万人から令和6年の約13万人と確実に増加傾向にある。</li> <li>・また、Googleの口コミ件数は1,200件に達しており、北浜・淀屋橋エリアにおいて最上位を維持している。これらの数値からも、集客力が高く、Web上でも広く認知されていることが確認できる。</li> <li>・リバーサイドBBQや各種イベントを実施など水辺の賑わい創出に寄与した。</li> </ul> <p>(レストラン)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗利用の集客については年間平均約48,000名(コロナ禍を除く)、テイクアウトメニューについては月に3,500食程度の需要がある。また、公式ホームページやグルメサイト(食ベログ、ぐるなび、ホットペッパー)の合計アクセス数は約40万件あり注目度・集客力は高いと判断できる。</li> <li>・バラと水辺のある特別なロケーションを活かした賑わいづくりに寄与した。</li> <li>・今後は川沿い、公園や川沿いという特色を生かした利用シーンの提案とそれに合わせたメニュー構成に変更し、ファミリーの憩いの場に出来るようキッズBBQプランなどの作成を検討中。</li> </ul> <p>[利用者実績]</p> <table border="0"> <tr> <td>令和3年度</td> <td>121,413人</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>171,355人</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>188,084人</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>196,633人</td> </tr> </table>	令和3年度	121,413人	令和4年度	171,355人	令和5年度	188,084人	令和6年度	196,633人
令和3年度	121,413人								
令和4年度	171,355人								
令和5年度	188,084人								
令和6年度	196,633人								
<p>情報発信 (水辺の賑わいのための拠点施設として、連携・ネットワーク等の交流や情報発信は行っているか)</p>	<p>(サービス施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中之島」というキーワードを積極的に活用した情報発信を行うことで、水辺を含むエリア全体の認知度向上に貢献している。特に、“食”を通じて「中之島へわざわざ訪れる目的」を構築している。</li> <li>・近年では、SNSを中心とした発信施策にも注力しており、InstagramでのインフルエンサーマーケティングやMeta広告の配信を実施。季節に合わせた飲食プランや、川沿いの中之島公園ならではの開放的な立地の魅力を発信することで、若年層を中心とした新たな来訪者層の拡大につなげている。</li> </ul> <p>(レストラン)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社内広報部と連携し、営業開始時や春休み・GW・夏休みなどの連休前などには、Instagramやグルメサイトへの掲載、プレスリリース配信などを実施している。</li> <li>・上記プレスリリース経由で、過去に「週刊じゃらん」「大阪観光局 Instagram」「大阪じゃーなる」や「テレビ大阪 大阪おっさんぽ」などに掲載。</li> </ul>								

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・水辺の賑わい利用を促進するために、秋 BBQ や韓国料理フェアなどを実施している。</li> </ul>
	<p>次年度以降の取組方針 (提案内容の実現性はあるか)</p>	<p>(サービス施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も中之島公園で開催されるイベントと連携予定。</li> <li>・加えて、川沿いの中之島を「思い出に残る場所」としての価値を提供。具体的には、誕生日や記念日での来店訴求を強化するとともに、婚礼案件に関する PR 活動を推進し、子供向けの体験型コンテンツを行い、単なる「訪れたい場所」ととどまらず、「思い出に残る場所」としての価値創造を図っていく。</li> <li>・川沿いのオープンテラスを活用したマルシェや音楽・健康イベント・アート展示などを積極的に展開し「食」と「空間」を通じた人々の交流の場として、さらなる賑わいを創出していく。</li> </ul> <p>(レストラン)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来シーズン、リニューアルをして店名に「中之島公園」というワードを入れることを検討。これにより今期までよりも弊社店舗と公園の繋がりが強まり、公園での過ごし方が広まることを見込む。</li> <li>・川沿いの公園をより楽しめるように、食べ歩きしやすい商品の販売やピクニックセット(軽食・レジャーシート)の販売を検討。バラ園、芝生エリアなどでも楽しめる事が可能になるので、より公園内の利用を促すことに繋がると見込む。</li> <li>・子供に向けた学びの場を提供出来るように、サスティナブルや食育のワークショップ開催を準備中。</li> <li>・各種取り組みを通じ、利用者に川とバラ園の魅力を堪能していただくことで、食の部分にとどまらず、川沿いの中之島公園一帯の集客・活性化につなげる。</li> </ul> <p>・事業者からは計画の見直しを行いながら引き続き事業の推進に取り組み意欲が示されており、一定の実現性がある。</p>
河川管理	<p>周辺との調和 (一般通行の障害、騒音、臭気等について十分に配慮されたか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中之島公園でのイベント開催時にトイレを開放。</li> <li>・週末など公園内の来園者が多い日は、営業終了後に店舗周辺のゴミ回収を実施。特に昼時は、当店のテイクアウトを含め、公園内で飲食を楽しむ方が増えるため、環境美化に努めている。</li> <li>・過去5年間、事業者及び関係機関に苦情や要望はなし。</li> </ul>
	<p>良好な施設の維持管理 (維持管理の不備により施設利用者に危害を及ぼすことは無かったか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備点検などの維持管理を実施しており、過去5年間、施設が施設利用者に危害を及ぼすことはなかった。</li> </ul>
	<p>利用者の安全確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風や地震等の緊急時マニュアルを共有、スタッフ避難場所・経路の把握、防災訓練(年2回)を開催している。</li> <li>・令和7年7月30日に発生したカムチャツカ半島地震に伴う津波注意報の発令時は、気象庁の情報や大阪河川防災情報を随時確認しながら、利用者の安全に配慮した通常営業を行った。</li> </ul>

<p>占用施設の種類  (特区内で認められている占用施設と実際の設置施設が合致しているか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の設置施設は特区内で認められている占用施設に合致している。</li> </ul> <p>&lt;中之島東部で認められている占用施設と<b>実際の設置施設</b>（四角囲み）&gt;  広場、<b>イベント施設</b>、遊歩道、前述に掲げる施設と一体をなす<b>飲食店</b>・<b>売店</b>・<b>オープンカフェ</b>・照明・音響施設、その他都市及び地域再生等のために利用する施設</p>
<p>取組の総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園・水辺の立地を活かした利用を促すことにより、中之島公園全体の集客・地域活性化に寄与している。</li> <li>・適切に維持管理が行われており、苦情等も特になく、施設管理者及び周辺利用者との大きなトラブルはなかった。</li> <li>・また、利用者実績数についてもコロナ禍から回復傾向にあり、水辺の賑わいが創出されている。</li> <li>・令和8年度以降も引き続き、中之島公園で開催されるイベントの実施、事業を推進する意欲が示されており、一定の実現性がある。</li> </ul>
<p>事業評価（案）</p>	<p>総合的に評価し、事業継続は妥当である。  水都大阪ビジョン等でも位置付けのある水都大阪の拠点として、地域との連携を意識した取り組みを実施するなど、公園・水辺の立地を活かした中之島公園含め地域全体の活性化に繋がる更なる取り組みに期待する。</p>